野 赤 間 武 公 子 司 (本学名誉教授) 教 授

幸 子 准 教

授

佐

藤

子 (専 任 講

師

紀 助 教

辻

和

希

助

教

佐

藤

雄

西

111

晶

祐 美 非 常 勤 講 師

小

松

葉 子 非 常 勤 講 師

原

新

保

友

恵

非

常

勤

講

師

優 佳 非 常 勤 講 師

西

路

編集委員

原 泰

北

和 希 邦

辻

和二年二月二十日 発 印

二年三月一日 信 州豊南短期大学紀要

編集発行者 信州豊南短期大学 電話 〇二六六④四四一一 (代表) 長野県上伊那郡辰野町中山

七二

長野県駒ヶ根市赤穂四二九五宮 澤 印 刷 〇二六五88二五七一 (代表)

印

刷

所

しめる場でもあると考えます。 会に発信できる貴重な場となることを期待してやみません。 連携した教育が求められてきます。本紀要がそうした地域社 でもあります。 会は本学の教育の特色や強みを広くアピールできるチャンス くることは言うまでもありません。 日々取り組んでいる教育的実践の成果を広く地域社会に知ら 何より教育機関としては、 は情報公開という社会的な情勢に即した流れでもあります。 公開され、 論文は本学リポジトリの一環として、 いうことは、今まで以上に個々の研究の質や倫理が問われて 和最初の紀要刊行となります。数年前から、 オープンアクセスが可能となっております。 大学・短大では今後、より一層、 蓄積された研究成果を世に問い 誰もがアクセスできる環境と その一方で、こうした機 電子データの形で保存 地域社会と 紀要掲 編集担当

53